

知床国立公園ウトロ海域における海鳥の保護と持続可能な海域利用検討会 関係者ヒアリング調査結果報告書

1. ヒアリング調査の実施

各事業分野の関係者よりヒアリング調査を実施した。ヒアリング項目は事前に専門委員および環境省の助言と校正を受け決定した。ヒアリング調査は、直接聞き取りとアンケートによる方法を併用して実施した。直接聞き取りによるヒアリングでは事前のヒアリング項目を全て聞き取れない場合もあったが、海鳥についての話や海域利用における意見などを会話の中でお話し戴いた。ヒアリング調査は、観光船事業者より8名、漁業関係者より4名、遊漁船事業者より2名、シーカヤックガイド事業者より1名の計15名のご協力を頂いた。

2. ヒアリング調査結果

ヒアリング調査では、各事業分野の方々から直接聞き取り、およびアンケートにより意見を得る事ができた。回答内容を要約して次頁以降に示す。

1. 関係者共通ヒアリング項目

【検討会に関する内容】

Q 1.1 今回の検討会の目的や進め方についてご理解いただけますか？

(該当する項目に を付けてください)

- a) . よく理解できる b) . ある程度は理解できる c) . あまり理解できない
d) . まったく理解できない

「よく理解できる」又は「ある程度は理解できる」との意見がほとんどだった。このような取り組み自体には理解を得られていると思われる。アンケートでは無回答のケースもあった。

Q 1.2 「検討会でこんな事も検討して欲しい」というような要望はありますか？

聞き取りによる調査からは特に意見・要望は得られなかったが、観光船事業者からのアンケート回答の中では「陸との再接近距離の明確化」という回答が寄せられた。

【海鳥への関心について】

Q 1.3 海鳥への意識について“愛着”や“大事にしたい”といった感情はありますか？またどのような意識でしょうか？

(該当する項目に を付けてください)

- a) . 愛着ある存在である。彼らにも住みやすい海であって欲しい。
- b) . それほど“可愛い”とか愛着を感じる事も無いが、居ないと寂しい気もする。
- c) . 別に居なくても困らないが、居ないよりは居た方が良いでしょう
- d) . 邪魔になって困っている、居ない方がいい
- e) . その他 (どんな事でも結構です)

「a) . 愛着ある存在」又は「b) . 居ないと寂しい気もする」との意見が多く、中には野鳥への関心が高く普段から良く観察されている方も居るようである。少なくとも「迷惑な存在」と認識されている意見は今回見られなかった。

Q 1.4 海で見られる海鳥の営巣や雛の巣立ち、餌獲りなどの生態、季節ごとの生息状況の変化などに関心はありますか？(該当する項目に を付けてください)

- a) . 結構見ているものだ。海鳥の生態についても興味はある。
- b) . あまり真剣に見る事は無い。それほど関心も無い。
- c) . 全く関心を持って見たことが無い。
- d) . その他 (どんな事でも結構です)

回答では「a) . 結構見ている」、「b) . あまり真剣に見る事は無い」との意見のどちらかであった。前の質問(Q1.3)で「a) . 愛着ある存在」と回答された方の多くは「a) . 結構見ている」と回答されている。遊漁船事業者の方からのヒアリングからは、「海鳥は低く飛ぶ時は天候が悪くなる」、「彼らは結構人間や船を覚えていて沖に出ると同じ鳥が船の近くにやって来る」など、身近な存在として親しみを感じている方も見られた。

【海鳥の保護について】

Q 1.5 ケイマフリ（赤い足の鳥）は最近減っているとの調査結果がありますが、実際に海で見かけるケイマフリは減っていると感じますか？他の海鳥（ウミウ、カモメ類、海ガモ類）はどうですか？

「確実に減っている」、「増えていると思う」、「極端に減ってはいないと思う」、との様々な感想が寄せられた。それぞれのケイマフリへの関心度によって感じ方も異なると思われるが、誰もが感じる大きな変化としては捉えられていないようである。ケイマフリについて今まで他の鳥（ミヤコドリ）と勘違いされていた方もいらっしまった。

遊漁船事業者の方からは「ケイマフリは確実に減っている。減った原因は観光船の接近とかよりも、一番は餌の問題だと思う。オオナゴを啜えたケイマフリの姿は以前良く見かけたものだが、最近はその光景を見る事が少なくなった。オオナゴの群れは魚探に塊となって現れるが、最近はその群れがあまり見られない。オオナゴの群れに付くホッケも岸寄りが悪くなった。オオナゴが減った原因として、海水の温度が高い事（以前5月の連休頃の水温は0 前後だったが最近は2 くらいある）また関連して流水の接岸量が減った事も大きな要因だと思う。」との意見もあり、「そのあたりの事を皆さんは理解しているのか？」と指摘もされた。

その他、「プユニ岬のケイマフリの増減は感じられない。フレペの滝周辺のカモメ類は減っていると感じる」との声もあった。

Q 1.6 オジロワシ、オオワシの生息状況はいかがでしょうか？最近減っている、または増えている、営巣している数や営巣場所について変化を感じている事など教えてください。

「良く解からない」、「あまり変わっていないのでは？」という回答がほとんどであった。観光船事業者からのアンケートからは「少し減っているのではないか」という回答が一件あったが、全体としては大きな変化は今のところ感じられていないようである。

Q 1.7 海鳥が死んでいるのを最近見ましたか？見かける頻度・種類について教えてください。（例）「年に5羽くらいカモメ類が死んでいるのを見かける」

「見ない」、「あまり見た事がない」という意見が多かった。見た事がある場合でも「年に2～3羽カモメ類が死んでいるのを見る」程度の回答であり、日常的に目にする状況ではないようである。

Q 1.8 絶滅危惧種とされているケイマフリを保護する事についてご理解いただけますか？（該当する項目に を付けてください）

- a) . 大変理解できるし、保護する事に協力してもよい。
 （ケイマフリ以外の海鳥でも該当するものがあれば を付けてください）
 カモメ類 ・ウミウ ・オジロワシ ・オオワシ その他（ ）
- b) . 理解は出来るが、何か協力しようとは思わない。
- c) . あまり関心が無いが、居ないよりは居た方が良いのだろう。
- d) . 他の動物の方に関心がある。（クマ、イルカ、クジラ、アザラシ、クリオネなど）
- d) . 全く関心が無い。

「a) . 大変理解できる。協力してもよい」、「b) . 理解は出来る」、「d) . 他の動物の方に関心がある」と回答は様々であったが、比較的「a) . 大変理解できる」の回答が多かった。ケイマフリ以外の海鳥保護への理解としてはオジロワシ、オオワシを挙げる方が多い。

Q 1.9 日頃海域を利用する中で海鳥の生息に対して「ちょっとまずいのかな？」と感じた経験はありますか？もしあれば、それはどんな状況でしたか？

(該当する項目に を付けてください)

- a) . ある それはどんな状況でしたか？
- b) . ない

ほとんどの回答者からは「b) . ない」という回答であった。
 観光船事業者の回答の中で「海岸近くを走る観光船に、海鳥はストレスを感じているのではないのでしょうか？」、「クルーザーの接近と船のオイル」との意見があった。

Q 1.10 海鳥の保護について何か協力できる事があると思いますか？

(該当する項目に を付けてください)

- a) . ある
それはどんな事でしょうか？(想像でも結構です)
- b) . 何か具体的な内容を提示されれば協力を検討したい。
- c) . あまり協力は出来ない。(あまり係わりたくない)
- d) . その他

「b) . 何か具体的な内容を提示されれば協力を検討したい。」という意見が多く保護への協力を前向きな回答が多かった。また「a) . 協力できる事がある」と回答された方の中には「観光客への周知」、「ケイマフリを見たら写真を撮っておく」、「船で沿岸に近付かない事くらいだと思おう」という意見も見られた。

Q 1.11 海鳥を保護する事によって、あなたの事業分野で何かメリットを期待できると思いますか？（該当する項目に を付けてください）

- a) . 期待できる。期待したい。
それはどんな事でしょうか？アイデアでも想像でも結構です。
- b) . 何か具体的な例を紹介して欲しい。
- c) . 期待出来ないだろう。
- d) . その他

漁業関係者、遊漁船事業者の方からは「c) . 期待出来ないだろう。」という意見が多く、観光船事業者の方からは「a) . 期待できる。期待したい。」との声が多く聞かれ、「観光資源として期待できる」、「多くの人に海鳥を見てもらいたい。感動して欲しい。」との意見であった。また漁業関係者、観光船事業者の方からの回答で「b) . 何か具体的な例を紹介して欲しい。」との意見も一件ずつ寄せられた。

【それぞれの立場からの意見】

Q 1.12 他の海域利用者（漁船・観光船・シーカヤック・遊漁船）との関係で困っている事（海域利用上の不便・不満、マナー等）、日頃感じている事など聞かせてください。

あまり多くの意見、回答は得られなかったが、回答された内容としては、

遊漁船事業者から
 「遊漁船は他の船にあまり近付かないから、あまり影響は無いただろう」

観光船事業者から
 「入出港時の減速、航法を守ってほしい」
 「入出港、沖合での釣り船の航法に不満を感じる。また油の流出やゴミの投棄など釣り船のマナーの周知を願う」

漁業関係者から
 「大型観光船の波を受けると“方浮”？し、作業中危険である」
 「シーカヤックが立元？の陸へ揚がりキャンプしているが熊に対して危険」

シーカヤック事業者から
 「動力船のシーカヤックについての理解不足」

という意見が寄せられた。

【海域利用者の連携について】

Q 1.13 他の海域利用者（観光船・シーカヤック・遊漁船）と一緒に、何か共同で企画するような取組みについてはどう思われますか？
 （該当する項目に を付けてください）

- a) . 是非やってみたい。
 それはどんな事でしょうか？具体的なアイデア、想像でも結構です。
- b) . 何か具体的な内容を提示されれば協力を検討したい。
- c) . あまりやってみたいと思わない。
- d) . その他

「b) . 何か具体的な内容を提示されれば協力を検討したい。」または
 「c) . あまりやってみたいと思わない。」という意見が半々といったところであった。
 「動力船とシーカヤックの良い所を組み合わせたエコツアー」というアイデアも聞かれた。

2. 漁業者への追加ヒヤリング項目

【漁業と海鳥について】

Q 2.1 ウトロ周辺での漁業ではサケマス定置網漁を中心とした漁業形態であり、いわゆる“混獲”による海鳥への影響は少ないと考えられていますが、これまでに漁業が海鳥に与える影響として、何かそのような状況を経験した事、「影響があるかな？」と感じた事がありますか？（該当する項目に を付けてください）

- a) . ある
それはどんな状況でしたか？
- b) . ない

全ての回答者から「b) . ない」の回答を得た。

【その他】

Q 2.2 浜中町では「シーバードフレンドリー認証」という取組をしていますが、御存知ですか？またこの様な取組みをどのように思いますか？
（該当する項目に を付けてください）

- a) . 良い取組みだと思う。ウトロでもこのような取組みをやってみたい。
- b) . 良い取組みだとは思うが、個人的にはあまり係わりたくない。
- c) . あまり関心が無い、やりたい人が居るならやれば良い。
- d) . 全く関心が無い、そういうのはやらないほうが良い。
- e) . その他

「c) . あまり関心が無い、やりたい人が居るならやれば良い。」という意見、もしくは無回答であった。

3. 観光船業者への追加ヒヤリング項目

【利用者のニーズ・満足度について】

Q 3.1 利用者の“満足度”という点で手応えはいかがですか？
 (該当する項目に を付けてください)

- a) . かなりの確立で皆さん満足して(楽しんで)帰られていると思う
- b) . ある程度皆さん満足して(楽しんで)帰られていると思う
- c) . 良く解からない

満足されない利用者がいらっしゃったとすれば、それはどんなケースですか？

「b) . ある程度皆さん満足して(楽しんで)帰られていると思う」という意見が多く、利用者の満足度には手ごたえを感じられているようである。ただし天候が悪い場合、船酔いをした利用者には、満足させてあげられなかったケースと認識されている。

Q 3.2 利用者が喜ぶ場面はどんなところですか？
 (該当する項目に を付けてください)

- a) . 熊の出没などの野生生物の出現
- b) . 風景(知床連山、断崖、滝)
- c) . 船自体の乗り物としての楽しみ
- d) . 船内ガイド(アナウンス)の話術や説明内容
- e) . その他

具体的な場面について教えてください。

「a) . 熊の出没などの野生生物の出現」、「b) . 風景(知床連山、断崖、滝)」がやはりほとんどを占めており、これらが最も喜ばれる要素と認識されている。「c) . 船内ガイド」に喜ばれているとした回答もあり、ガイドの内容に対しての手ごたえ(利用者の良い反応)を感じている方も居られた。

Q 3.3 利用者から寄せられる要望で多いものはどんな事ですか？

回答は少なかったが「断崖に近づけて欲しい」という要望を受けた回答が一件あった。

Q 3.4 現在何か新しい企画・サービスなどをお考えですか？

(該当する項目に を付けてください)

- a) . 新しく考えている企画がある、既に取り組んでいる。
差し支えない範囲でその内容を教えてください。(他社には開示しません)
- b) . 特に無い。

「b) . 特に無い。」との回答のみであった。

回答しにくい設問であった可能性は高い。

【観光と海鳥について】

Q 3.5 利用者は海鳥への関心はあるようですか？

(ケイマフリ以外の海鳥やワシ類についても)

「関心がある方も増えてきている」との回答もあったが、全般的にあまり海鳥への関心を感じる事は少ないようである。また関心があってもオジロワシ、オオワシについては良く知られているが、ケイマフリとなるとなかなか関心持っている利用者は少ないと、感じているようである。

Q 3.6 ガイドする時に海鳥の話はしますか？その他の動植物(クマ、アザラシ、イルカ、貴重植物など)についてはいかがですか？

それらが見られた時には案内するといったケース。または利用者に質問された時に説明するという回答があったが、実際としては通常のガイドアナウンスの中で、断崖と海鳥の繁殖場所についての説明はされているケースが多いようである。

【安全航行とサービス内容について】

Q 3.7 船の航行時に気を遣うものは何でしょうか？

(該当する項目に を付けて、具体的な内容について記述してください)

- a) . 安全面 (気象条件、他の船舶との干渉、漂流物、定置網の存在など)
- b) . サービス面 (アナウンス、写真撮影、滝、断崖などを近くで見せる事など・・・)
- c) . その他

やはり「a) . 安全面」を一番に挙げられた。内容的にも他船、漂流物、定置網に対しての注意が主なものである。そのほかサービス面として「できるだけ崖に近づける」という回答もあり、なるべくなら近くで見せたいという意見も聞かれた。

Q 3.8 近くから見せたい物、遠くから見せたい物など、「ここはこう見せたい」というこだわりはありますか？ (他社には開示しません)

近くで見せたい物としては崖、熊、イルカ、クジラ。遠くから見せたい物は山、崖、紅葉、夕日、岬、国後島。という回答があった。また、この事に関して、「決められた航路内でのやりくりしか出来ない。決められた中での事」との意見があり、「航路を守る事が前提」とのことであった。

【船速・引き波について】

Q 3.9 船速を落とす場面、上げる場面はどんな時ですか？

(滝や岬などではスロー、定置網を交わす時や帰港の際は全速力など)

a) . 船速を落とす時

滝や岬などの対象物の前や、釣り船、ウニ船など他船が近くに居る時、入出港時は船速を落とすとのこと。

b) . 船速を上げる時

「出港後、転針後」との回答があったが、「速度を上げる」という事では無く、「速度は一定です」という指摘もあった。

Q 3.10 発生する引き波について他船（シーカヤックも含む）への配慮はされているでしょうか？また他船からの配慮を感じますか？

- a) . 通常の事として配慮しているし、他船も配慮してくれている。
- b) . 自船は配慮しているが、他船では全く配慮が感じられない場合もある。
- c) . 配慮はしているが、ある程度はしょうがないだろう。
- c) . 配慮など考えた事が無い。
- d) . その他の状況（船の業種によって振る舞いが違う場合など、その内容を記述してください）。

「a) . 通常の事として配慮しているし、他船も配慮してくれている。」という回答が得られたが、Q1.12 の設問の回答に見られるように、いくつかの不満や問題意識を感じている方々もいらっしゃると思われる。

【アンケート調査・利用者動向調査について】

Q 3.11 これまでに利用者へのアンケートなどを実施した事がありますか？
 (該当する項目に を付けてください)

- a) . ある 具体的に、どのような方法・回収数でしたでしょうか？
- b) . ない

「b) . ない」という回答のみであった。

Q 3.12 検討会では利用者動向調査を計画しています。この調査の中で設問項目として追加して欲しい項目があれば教えてください。

特に回答は無かった。
 今期の試験調査の項目にはタイミング的に盛り込む事が困難であったが、調査結果を踏まえ、次回の実施の際には盛り込めるようにする。

Q 3.13 利用者動向調査の調査方法として最適と思われる方法はどのような方法でしょうか？ (該当する項目に を付けてください)

- a) . 乗船前にアンケートを配布(返送用封筒で回答)
- b) . 乗船前にアンケートに記入依頼
- c) . 降船後にアンケートを配布(返送用封筒で回答)
- d) . 降船後にアンケートに記入依頼
- e) . その他

「c) . 降船後にアンケートを配布(返送用封筒で回答)」という意見が多かったが、小型船、大型船で利用者の動きも異なるため、個別の対応が必要と考えられる。

4. シーカヤックガイド業者への追加ヒヤリング項目

Q 4.1 利用者の“満足度”という点で手応えはいかがですか？

- a) . かなりの確立で皆さん満足して（楽しんで）帰られていると思う。
- b) . ある程度皆さん満足して（楽しんで）帰られていると思う。
- c) . 良く解からない。

満足されない利用者がいらっしゃったとすれば？それはどんなケースですか？

かなりの確立で満足されていると感じられているとのこと。満足されないケースとしては「悪天候などによる中止」を挙げられた。

Q 4.2 利用者が喜ぶ場面はどんなところですか？

- a) . 熊の出没などの野生生物の出現
- b) . 風景（知床連山、断崖、滝）
- c) . シーカヤック自体の乗り物としての楽しみ
- d) . ガイドの話術や説明内容
- e) . その他

具体的な場面について教えてください。

回答としては a) . b) . c) であった。具体的なポイントとしては「フレペの滝」、「男の涙」。

Q 4.3 利用者から寄せられる要望で多いものはどんな事ですか？

特になし

Q 4.4 現在何か新しい企画・サービスなどをお考えですか？
(該当する項目に を付けてください)

- a) . 新しく考えている企画がある、既に取り組んでいる。
差し支えない範囲でその内容を教えてください。(他社には開示しません)

「シーカヤックで行く半島ごみ広いつアー」などの回答があった。

- b) . 特に無い。

【観光と海鳥について】

Q 4.5 利用者は海鳥への関心はあるようですか？
(ケイマフリ以外の海鳥やワシ類についても)

「説明していく事によって関心も高まる傾向がある」

Q 4.6 ガイドする時に海鳥の話はしますか？その他の動植物(クマ、アザラシ、イルカ、貴重植物など)についてはいかがですか？

「目視できれば積極的にしている」

【安全航行とサービス内容について】

Q 4.7 艇の航行時に気を遣うものは何でしょうか？

(該当する項目に を付けて、具体的な内容について記述してください)

a) . 安全面 (気象条件、他の船舶との干渉、漂流物、定置網の存在など)

気象条件、他の船舶との干渉、漂流物、定置網の存在など、これら全てであるとの回答。

b) . サービス面 (ガイド説明、写真撮影、滝、断崖などを近くで見せる事など・・・)

ガイド説明、写真撮影、滝、断崖などを近くで見せる事など、これら全てであるとの回答。

c) . その他

- ・ 船酔い
- ・ 疲労などの体調管理 (低体温症も)

Q 4.8 近くから見せたい物、遠くから見せたい物など、「ここはこう見せたい」というこだわりはありますか？ (他社には開示しません)

対象物に影響を与えない範囲でなるべく近く。

【アンケート調査・利用者動向調査について】

Q 4.9 これまでに利用者へのアンケートなどを実施した事がありますか？
（該当する項目に を付けてください）

- a) . ある
具体的には、どのような方法・回収数でしたでしょうか？
- b) . ない

ない

Q 4.10 検討会では利用者動向調査を計画しています。この調査の中で設問項目として追加して欲しい項目があれば教えてください。

なし

Q 4.11 利用者動向調査の調査方法として最適と思われる方法はどのような方法でしょうか？（該当する項目に を付けてください）

- a) . 乗船前にアンケートを配布(返送用封筒で回答)
- b) . 乗船前にアンケートに記入依頼
- c) . 降船後にアンケートを配布(返送用封筒で回答)
- d) . 降船後にアンケートに記入依頼
- e) . その他

「b) . 乗船前にアンケートに記入依頼」、「c) . 降船後にアンケートを配布」のどちらかであるとの回答だった。

【その他】

Q 4.12 シーカヤック利用者（特にガイドを利用しないビジター）への情報提供方法として、効果的な方法はどんな方法でしょうか？また提供する情報としてはどのような情報ですか？

「インターネットでの呼び掛けとPR。出艇場所を明確にする。」という意見であった。

5. 遊漁船業者への追加ヒヤリング項目

【利用者のニーズ・満足度について】

Q 5.1 利用者の“満足度”という点で手応えはいかがですか？（釣果、その他のサービス面）（該当する項目に を付けてください）

- a) . かなりの確立で皆さん満足して（楽しんで）帰られていると思う。
- b) . ある程度皆さん満足して（楽しんで）帰られていると思う。
- c) . 良く解からない。

満足されない利用者がいらっしゃったとすれば、それはどんなケースですか？

「a) . かなりの確立で皆さん満足して帰られていると思う。」と感じている回答が多かった。満足されないケースとしては、当然期待していた釣果が得られなかった時と船酔い、また潮の流れが早いなど思うような釣り方が出来なかった時などを挙げられた。

Q 5.2 利用者が喜ぶ場面はどんなところですか？“釣果”の他に何かありますでしょうか？

「船に乗って沖に出る事自体が楽しい」という釣り客の方々もおられるとの意見や、本州の人に多いのが「北海道で釣りをする」という事自体を楽しみにしている、という意見のほか「北海道では、それほど人気の高くない魚、ガヤ(エゾメバル)がたくさん釣れるが、本州の人達は「大きなメバル」として見るので非常に喜ぶ」という話も聞かれた。

Q 5.3 利用者から寄せられる要望で多いものはどんな事ですか？

要望ではないが、宿泊客が早朝に沖に出て釣った魚をその日の宿泊先の朝食で食べられるようなサービスをしたところ、大変好評であったとの事。

6. その他

Q 6.1 関連して何かご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

その他に

- ・ 「世界遺産になる前には問題はなかったのに、なってから自然保護を考えなければならぬとは残念」
- ・ 「ルール厳守が必要。強制力を持ってどこまでやれるかが重要。なぜ世界自然遺産になったのか？世界自然遺産になれたのか？」

との意見が寄せられた。